【4-6 評価シート 観察研究】

診療ガイドライン	CQ11大量メトトレキサート療法に対するホリナート救援療法の腎障害予防には尿のアルカリ化が推奨されるか？
対象	MTXを投与されるがん患者
介入	ロイコボリン投与、尿のアルカリ化
対照	ロイコボリン投与、尿のアルカリ化なし

*バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
まとめは"高(-2)"、"中(-1)"、"低(0)"の3段階でエビデンス総体に反映させる
** 上昇要因
各項目の評価は"高(+2)"、"中(+1)"、"低(0)"の3段階
まとめは"高(+2)"、"中(+1)"、"低(0)"の3段階でエビデンス総体に反映させる
各アウトカムごとに別紙にまとめる

アウトカム	有用であるか？

個別研究		**バイアスリスク***							**上昇要因****				**非直接性***					**リスク人数(アウトカム率)**								
		選択バイアス	**実行バイアス**	**検出バイアス**	**症例現象バイアス**	**その他**																				
研究コード	**研究デザイン**	**背景因子の差**	**ケアの差**	**不適切なアウトカム測定**	**不完全なフォローアップ**	**十分な交絡の調整**	**その他のバイアス**	**まとめ**	**量反応関係**	**効果減弱交絡**	**効果の大きさ**	**まとめ**	**対象**	**介入**	**対照**	**アウトカム**	**まとめ**	**対照群分母**	**対照群分子**	**(%)**	**介入群分母**	**介入群分子**	**(%)**	**効果指標(種類)**	**効果指標(値)**	**信頼区間**
Von Hoff197	コホート研究	-1	-1	0	-1	-1	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		498	498		治療関連死		
Mir2010	症例集積	-1	-1	0	-1	-1	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		16	16		有害事象(特に		
Romolo 1977	症例集積	-1	-1	0	-1	-1	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		7	7		PK、有害事象		
Stoller1977	症例集積	-1	-1	0	-1	-1	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		78	78		PK、有害事象		
Widemann2001	症例集積	-1	-1	-1	-1	-1	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		3887	3887		有害事象(腎機		
Flombaum19	症例集積	-1	-1	0	-1	-1	0		0	0	0		0	0	0	0		0	0		13	13		有害事象		
Buchen 2005	コホート研究	-1	-1	0	0	-1	0		0	0	0		0	-2	0	0		0	0		58	58		PK、有害事象		
Widemann2010	コホート研究	-1	-1	0	-1	-1	0		0	0	0		0	-2	0	0		0	0		100	100		PK、有害		

コメント(該当するセルに記入)

Von Hoff197	コホート研究	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	回帰分析																				
Mir2010	症例集積	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	回帰分析																				
Romolo 1977	症例集積	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	回帰分析																				
Stoller1977	症例集積	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	回帰分析																				
Widemann2 001	症例集積	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	回帰分析																				
Flombaum19	症例集積	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	回帰分析																				
Buchen 2005	コホート研究	非ランダム化試験			プロスペクティブ	回帰分析								Carboxypeptidase G2 の有効性												

Widemann2010	コホート研究	非ランダム化試験			レトロスペクティブ	多変量解析								Carboxypeptidase G2 の有効性												